

須木地域協議会だより

須木地域協議会では、毎月1回、須木地区の事業に関することや、須木地区の活性化などを協議する「地域協議会」を開催しています。以下、12月に行われた地域協議会の主な内容を紹介いたします。

12月24日（水）開催

(1) 須木学校給食センターの跡地利用について
現在、小林地区に建築中である学校給食センターが4月より運用開始となる予定であるが、その後の須木学校給食センターの跡地利用について委員より質問があり、事務局より他の利用が可能であるか確認中であると説明されました。

(2) 鹿肉・猪肉の加工所について
委員より、国が地域創生を進めているが、そのなかで鹿肉・猪肉の加工所を建設すればどうかとの意見がだされ、事務局より今年度、地域協議会で視察研修に行くことになっているため、そのなかで加工所の視察も取り入れたいと説明されました。

(3) 地域自治区設置満了後の須木地区の在り方について
委員より、平成28年3月19日で設置期間満了となる地域自治区の取り扱いについて、今後市長から諮問があると思われるが地域協議会からの意見書を提出すべきではないかとの意見が出され、次回の地域協議会で意見書を作成し提出することになりました。

今後、須木地区の活性化のために協議を進めますので、ご意見等がありましたら、地域振興課（TEL48-3130）までご連絡ください。

平成27年度申告相談日程

『受付時間』

内山地区
午前9：30～12：00 午後1：00～4：00

その他の地区

午前9：00～12：00 午後1：00～4：00

■申告の際に用意していただくもの

- ① 印鑑（シャチハタ不可）
- ② 【給与・年金のある方】源泉徴収票または給与支払証明書
- ③ 【障害者控除を受ける方】障害者手帳等
- ④ 【社会保険料・国民年金保険料控除証明書
- ⑤ 26年中に支払った健康保険料（料）・生命保険料・損害保険料・地震保険料の支払証明書
- ⑥ 【医療費控除を受ける方】医療費支払領収書等、医療費を補てんする保険金等の支払金額がわかる物
- ⑦ 【寄附金税額控除を受ける方】寄附金の領収書等
- ⑧ 【農業・営業・不動産等の申告をされる方】26年中の収入・支出のわかる諸帳簿、収支内訳書、領収書など
- ⑨ 【一時所得：生命保険の満期返戻金等がある方】支払証明書
- ⑩ 【所得税還付のある方】通帳

※確定申告をスムーズに行うために農業収支内訳書の作成を事前に行い、申告会場にお持ちください。
農業収支内訳書の作成でお困りの方は、作成の相談を受け付けますので、申告開始前（2月19日）までに、住民生活課へ農業収支に関する領収書等を持ってください。

【お問合せ 須木庁舎住民生活課 TEL 48-3132】

平成26年9月に着工された、すきむらんど宿泊施設「かるかや」の屋根葺き替え工事が完成しました。

平成3年から古民家を移築し、建設され平成5年に営業開始した「かるかや」は、日本管内でも珍しく、多くの利用者から喜ばれてきました。

しかし、近年では老朽化による損傷が激しく、雨漏りや腐敗により、今後の営業が困難な状況でした。

今回は、屋根葺き替えと同時に、建物内装修繕も実施し、昔の雰囲気を残しつつ二重窓に合わせた改修が実施されました。特にヒノキ風呂、桶風呂、石風呂の改修により、宿泊者へのサービスの向上、集客増加に期待がされます。

残りの施設についても、来年度に向けた、屋根葺き替え工事を計画しています。

元旦に「拝賀式」を実施！（上九瀬地区）

平成27年1月1日（元旦）、上九瀬公民館にて、新春の「拝賀式」が上九瀬地区主催で行われました。

この日は、新年早々の雪が降り、寒い中での拝賀式となりましたが、新年を迎えた地区の人達は笑顔でお互いに挨拶を交わし、準備された料理やお酒を飲みながら、今年の抱負などを話していました。

式には、地区住民の37名が参加し、八重尾己年区長も「多くの方に参加して頂いた事が一番嬉しい。」と話されました。



茅葺き体験活動を実施！（須木小学校全児童が参加）

平成26年12月25日（木）、かるかやにて、茅葺き体験活動が実施されました。

この体験は、茅葺き作業の見学や体験する活動を通じて、自然素材を生かした伝統技術の素晴らしさや、先人の知恵・努力に気づき、伝統文化を大切にすることを目的とし実施されました。

参加した児童は、初めて体験する茅葺きに、友達と協力しながら一生懸命に取り組んでいました。すきむらんどから、豚汁の振る舞いや餅撒きも実施され、大いに喜んでいました。



『リニューアルオープン』 「かるかや」屋根葺き替え工事が完成！！



凧揚げ大会を実施！（原地区）



平成27年1月12日（月）、須木中学校前の農道敷きにて、新春の「凧揚げ大会」が原地区主催で行われました。

この取り組みは、8月に行われた「ふるさとプロジェクト」で、三世代による凧作りを実施し、その時に作成された凧を持ち寄り、今回行われたものです。

参加者は、自分で制作した手作り凧を、嬉しそうに空高く舞いあげていました。地元からのぜんざいの振る舞いも実施され、会場は大いに賑わいました。